

令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【健康・スポーツ科学研究科 健康・スポーツ科学専攻】

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------|-----|---|--|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|---|--|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | | 2. 技能・表現 | | | 3. 読解 | | | 4. 読解 | | |
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | | |
| 22MHSA1312 | 課題研究Ⅰ | 1 | 修士論文作成に向けての準備段階と位置づけて、実験計画の立案、予備実験の実施、データ解析、ディスカッション、そしてプレゼンテーション能力を高め、課題研究Ⅱへと繋げていく。 | 研究の最新情報、特に欧米の論文をよく読んで研究の知識を深めること。また、実験・調査の手法や統計解析能力を高めて修士論文の作成準備を整えること。 | ◎ | ◎ | | | | | | | | | | |
| 22MHSA2322 | 課題研究Ⅱ | 2 | 大学院での特論・演習・実習で修得した知識・技術を基に自らの研究テーマの背景と課題を明確にし、適切な研究方法と解析能力を養い、その成果をまとめてプレゼンテーションができること。 | 課題研究Ⅱを通して自身の研究テーマを学会で発表し、より質の高い修士論文に繋げていけるようにする。 | ◎ | ◎ | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 22MHSC1212 | 健康・スポーツ科学研究法 | 1 | 本授業では、研究のプロセス、統計手法および研究スタイルについて解説し、修士論文を作成するための基礎的知識を学ぶこと、および科学の健全な発展のために身につけなければならない科学者として必要な考えや態度を養うことを目的とする。 | スポーツ教育学、スポーツ科学、スポーツマネジメント学、および健康科学の各分野に関係する研究法についての理解を深める。加えて、科学の健全な発展のために科学者として必要な考え方、すなわち1) 責任ある研究活動とは何か、2) 高い倫理性に基づく研究の進め方、3) 適正な研究成果の発表について理解する。 | ◎ | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 22MHSC1222 | 身体運動評価学実習 | 1 | スポーツ健康科学と理学療法学の現場に必要な身体運動の見方・考え方を学ばせ、種々の実習を通して身体運動の量的・質的評価ができるようになることを目的とする。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | スポーツ医学に関連する測定方法および解析方法について正しく理解できると同時に測定および解析に使用する機器を正しく操作することができる。また、測定および解析を実施する際の注意点について説明でき、なおかつ測定および解析の妥当性、信頼性について検討することができ、身体運動の質的評価ができるようになる。 | | | | | | | | | ◎ | ◎ | | |
| 22MHSP1211 | 保健体育科教育学特論 | 1 | 保健体育科の教育目標、教育内容、指導方法、学習のあり方についての基礎的な知識・概念の理解を深めていく。それをもとに、保健体育科の課題の解明に迫る。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | ・保健体育科の意義を理解できる。 ・保健体育科の課題にむけて解決方法（研究の視点）を身につける。 | | | ◎ | | | ○ | | | | ○ | ○ | |
| 22MHSP1312 | 保健体育科教育学演習 | 1 | 保健体育科に関して問題を指定し、理論的ないしは実践的に解明していくための研究計画を作成する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | ①解明しようとする問題を演習のテーマとし、先行研究の動向を知る。 ②テーマに迫るための研究方法を定める。 ③データを集め論理的に組み立てて一定の知見を得る。 | | | ○ | | | ◎ | | | | ○ | ○ | |
| 22MHSP1221 | スポーツ教育学特論 | 1 | スポーツ（体育授業以外のスポーツ実践を主な対象とする）を教育という観点から捉え、スポーツの教育力・実態（問題点）・実践課題などを総合的に明らかにする。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 受講生がそれぞれのスポーツ観・教育観を再吟味し、視野を広げたうえで再構築することを目標とする。 | | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | ◎ | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | | | |
|------------|-----------|-----|---|--|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-----|---------|-----|---|---|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | | 2. 技能・表現 | | | 3. 判断 | | 4. 課題解決 | | | |
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | | |
| 22MHSP1322 | スポーツ教育学演習 | 1 | スポーツの教育価値について、当事者の見解を題材に考察する。受講生が、取材や文献精読、プレゼンテーションを通じてそれぞれのスポーツ観・教育観を再吟味する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 受講者自身の調査・演習を通じて、各自のスポーツ観・教育観をより実践的な形で深める。 | ○ | | | ○ | | | ◎ | | | ◎ | | |
| 22MHSP1231 | 教育経営学特論 | 1 | 学校教育活動を経営するという観点から捉え、個々の学校の現状認識を踏まえてどのような経営が生徒の成長に寄与することができるのかについて、教育現場での実践を踏まえて総合的に明らかにする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 学校経営に関するあらゆる視点の中からいずれかの視点に絞り、その全体像を俯瞰するとともに、いかに経営していくべきかについて学校現場の実践に学ぶとともに、その経営方策について総括することを目標とする。 | ○ | | | ○ | | | ◎ | | | ○ | ◎ | ○ |
| 22MHSP1332 | 教育経営学演習 | 1 | 学校現場をフィールドとして学校経営実践に学ぶとともに、その学校の掲げる教育目標実現等の方策について模索することを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 各学校が掲げる教育目標や実践課題を踏まえ、その目標実現や課題解決のための方策を構築する中で、学校現場での実践に役立つ学びを深める。 | ○ | | | ○ | | | ◎ | | | ○ | ◎ | ○ |
| 22MHSS1211 | 運動生理学特論 | 1 | 生理学的な原理をスポーツや身体運動へ応用することは、保健体育教師、コーチ、健康運動指導士、スポーツ競技者や学校における教育などにとって必要な取り組みになってきている。本特論を通じてさまざまな身体運動における生理的メカニズムを理解し、トレーニングプログラムの立案能力やリハビリテーションへの応用力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 運動・スポーツの際の生理的反応を理解し、健康増進やスポーツトレーニングについての課題に対して生理学的根拠に基づいて議論できる能力を身につける。 | | | | | | | ◎ | | | ◎ | | |
| 22MHSS1312 | 運動生理学演習 | 1 | 課題に対して文献を検索し、内外の情報収集ができること、情報をまとめて説得力のあるプレゼンテーションができること、さらに科学的な根拠に基づき独創的な発想で身体運動のあり方を考えることができる能力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 健康・体力に関連する情報収集に基づいてこれからの課題を発見し、その解決に向けての具体的な対策を科学的な根拠に基づいて説明することができる。 | ○ | ○ | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | | ◎ |
| 22MHSS1221 | 健康行動科学特論 | 1 | 体育・スポーツおよび健康づくり運動の指導および実践に関する心理学の専門知識を理解し、習得することを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 近年の健康行動科学に関する研究の動向を深く理解できる。 | | | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | | ◎ |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------|-----|--|--|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-----|-------|-----|---|---|---|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | | 2. 技能・表現 | | | 3. 判断 | | 4. 読解 | | | | |
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | | | |
| 22MHSS1322 | 健康行動科学演習 | 1 | 本科目では、健康を行動（主に身体活動）の側面から理解し、人の健康に関する行動の変容と維持について、先行研究の精読および調査演習から筋道を通して考える知識を身につけることを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 健康行動科学に関する調査手法を習得する過程を通じて、実践的な課題を解決する能力を身につける。 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | ◎ | | | ◎ | ◎ | |
| 22MHSS1231 | レジャー・レクリエーション学特論 | 1 | レジャー・レクリエーションに関連する原理、心理、運動論、指導論、組織論、企画論、グループワーク論等の基礎理論を学習するとともにレジャー・レクリエーション研究者として必要な基礎を養うことを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 近年のレジャー・レクリエーションに関する研究の動向・方法を深く理解する。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | ○ | ◎ | | ○ | ◎ | |
| 22MHSS1332 | レジャー・レクリエーション学演習 | 1 | レジャー・レクリエーションの研究で多く用いられる調査・分析（統計、多変量解析）方法を十分に理解するとともに高い実践能力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 研究者として必要な調査・分析の基本から応用までを学ぶ。 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | | | ○ | ◎ | | ◎ | ○ | ◎ |
| 22MHSS1241 | 運動制御学特論 | 1 | 本特論では、ヒトの神経系・運動器・感覚器のそれぞれの構造と機能、およびそれらの相互関係に立脚し、随意運動の制御機構について理解を深める。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 随意運動の制御機構について理解を深めることを目標とする。運動制御学の学修には、生体電気現象の記録・解析などへの理解を欠くことができず、運動生理学や運動学手法を用いた実験・実習も織り交ぜながら演習を進めていく。 | | | | | | | | ◎ | | | ○ | | |
| 22MHSS1342 | 運動制御学演習 | 1 | スポーツ科学あるいは理学療法に関する運動制御学関連の論文（主としてInternational Journal）を精読し、これらの精査がスポーツパフォーマンスの向上あるいは安全な生活遂行能力の確保に大きく寄与できることを理解する。同時に、国際的な視野から運動制御にかかわる最新の問題点を把握し考察できる能力の育成をはかる。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 修士論文に関わる英語科学論文の内容を正確に把握でき、それらを精査し自身の修士論文に独創性を持たせるよう活かしていくことを目標とする。 | ◎ | | | | | | | | | | ○ | | |
| 22MHSS1251 | スポーツ心理学特論 | 1 | 本講義ではスポーツ活動における個人の心理特性（人間行動や精神行動）を理解し、スポーツ場面において表出される臨床的問題について考究する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | スポーツ選手のメンタルに関する研究の動向を深く理解できる。 | | | | | | | | ◎ | | | ◎ | | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------|-----|---|---|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-----|---------|-----|---|--|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | | 2. 技能・表現 | | | 3. 判断 | | 4. 課題解決 | | | |
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | | |
| 22MHSS1352 | スポーツ心理学演習 | 1 | 本科目では、スポーツ活動の心理的側面を理解し、人の行動の生理・心理的変容について、心理指標や実験を通して考究することを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | スポーツ心理学に関する実験手法を習得する過程を通じて、実践的な課題を解決する能力を身につける。 | ◎ | ◎ | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 22MHSS1261 | スポーツコーチング特論 | 1 | この科目は効果的なスポーツコーチングの実践法に関する専門的知識をおよび理論の理解を深めることを主な目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 効果的にスポーツコーチングを実践するために必要な専門的知識および基礎理論を習得する。 <知識・理解> ●スポーツコーチング ●リーダーシップ ●研究方法 <技能> ●問題解決型思考スキル ●コミュニケーションスキル ●モチベーションコントロールスキル ●テキスト分析 <態度・志向性> ●臨床的研究態度 ●研究倫理 <総合的な学習経験と創造的思考力> ●学習した内容を、自分の研究領域およびスポーツコーチング実践に応用する能力 | | | | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 22MHSS1362 | スポーツコーチング演習 | 1 | この科目は効果的なスポーツコーチング法に関する専門的知識をおよび理論を実践に適用することを主な目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | コーチングサイクルに沿ったコーチングスキルを実践できる能力を習得する。 <知識・理解> ●スポーツコーチング ●パフォーマンス構造 ●トレーニング計画 <技能> ●問題解決型思考スキル ●コミュニケーションスキル ●マインドマップ作成スキル <態度・志向性> ●現象学的態度 ●分析的思考と統合的思考の両立 <総合的な学習経験と創造的思考力> ●学習した内容を、自分の研究領域およびスポーツコーチング実践に応用する能力 | | | | | | | | | ◎ | | ○ | |
| 22MHSS1271 | スポーツ文化学特論 | 1 | 最広義に定義されるスポーツ（語源的意味に遡り気晴らしする・遊ぶ、ダンスを含む）および、これをめぐる身体（伝統的な身体論、養生法を含む）を「文化」の問題として取り扱う。具体的には、スポーツおよび身体にかかる様々な諸問題を取り上げ、人文科学・社会科学のアプローチから論じるための方法を学ぶことを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | ・スポーツの語源的意味から、スポーツの「本質」を理解する。 ・文化を投影、刻印されたスポーツのあり方について理解を深め、課題を発見する能力を養う。 ・人文科学（文化人類学、歴史学）、社会科学（社会学）の各方法論のエッセンスを理解し、各方法論による分析をおこなうための視点を身につける | ◎ | ◎ | | | | ○ | | | ◎ | ◎ | ○ | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------|-----|--|---|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-----|---------|-----|---|--|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | | 2. 技能・表現 | | | 3. 判断 | | 4. 課題解決 | | | |
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | | |
| 22MHSM1231 | スポーツマネジメント特論 | 1 | 本特論では、文化としてのスポーツの質的向上や人々のスポーツ生活の豊かさの実現を目指すスポーツマネジメントの考え方や方法論を解説するとともに、スポーツマネジメントが展開される多様なマネジメント領域の現状とマネジメント課題を紹介する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | スポーツマネジメントの目的や目指す価値、社会的責任を理解し、豊かなスポーツ生活、スポーツ事業、組織マネジメント等のあり方を俯瞰する力を身につける。また、参加型および観戦型のスポーツマネジメント領域のマネジメント課題を理解する。 | ○ | ○ | | | ◎ | | | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 22MHSM1332 | スポーツマネジメント演習 | 1 | 本演習では、参加型のスポーツマネジメント領域と観戦型のスポーツマネジメント領域、さらに関連スポーツ産業領域をめぐる資料をもとに、各領域のマネジメント課題を整理し、課題解決に向けた議論を行う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 多様なスポーツマネジメント領域の実態に関する客観的資料の収集と整理を行い、マネジメント課題を指摘するとともに、課題解決に向けた方法の提案や議論をする力を高める。 | ○ | ◎ | | ○ | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| 22MHSM1241 | スポーツイベント特論 | 1 | スポーツイベントについて、イベント参加者（観戦者）、消費者行動、スポーツ・ツーリズムといった切り口から理解を深めることを目的とする。スポーツイベントの企画・運営、社会経済的影響、地域社会との関わり、メディアとの関わり、スポンサーやステークホルダーなどについて、スポーツマネジメントの視点から分析していく。 | スポーツイベントの特性や目的を理解できる。 イベントを取り巻くステークホルダーの存在を理解できる。 イベント評価を自身で行なうための知識や方法を理解する。 | ○ | ○ | | | ◎ | | | ◎ | ◎ | ○ | | |
| 22MHSM1342 | スポーツイベント演習 | 1 | スポーツイベントに関連する国内外の先行研究の精読を通じて、スポーツイベント研究のトレンドや社会的課題を自分自身で発見、解決する手法を理解することを目的とする。また、フィールドワークを通じて実践する。 | スポーツイベントに関連する社会的課題、研究題材を発見することができる。 発見した社会的課題、研究題材について実証的な研究に取り組むことができる。 | ○ | ◎ | | ○ | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| 22MHSH1211 | スポーツ医学特論 | 1 | この科目では多様なスポーツ外傷・障害の最新の治療および障害予防などの取り組みについて紹介する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | スポーツ外傷・障害の最新の治療がどのような段階にきているのか、どの程度の実用化がなされているのか、今後はどのような方向に進んで行くのかを理解する。 | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | |
| 22MHSH1312 | スポーツ医学演習 | 1 | この科目では多様なスポーツ外傷・障害の最新の治療について学び、その長所、短所を理解した上で、選手の復帰までにクリアすべき問題を明らかにし、それに対して取るべき戦略を自ら打ち立てられるようにすることを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | スポーツ外傷・障害の最新の治療についての論文を通じて、現状での治療上の問題点をディスカッションの中から理解する。 | ◎ | ◎ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------------|-----|--|--|---|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|---|---|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | | 2. 技能・表現 | | | 3. 判断 | | | 4. 読解 | | |
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | | |
| 22MHS1221 | 運動機能障害学特論 | 1 | 中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、その特徴および運動機能解析について基本的理解を得る。さらに、理学療法の評価と介入についても理解する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 修士課程大学院生が運動機能障害学に関する基本的理解を深め、理学療法の評価と介入について論理的に説明することができる。 | | | | | | ◎ | | | ◎ | | ◎ | |
| 22MHS1322 | 運動機能障害学演習 | 1 | 中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、国内外の文献講読を通じて、理学療法の評価と介入における最新の現状について理解する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 修士課程大学院生が自らの研究に関係する英語論文購読を通じて、運動機能障害学分野の研究を理解する。 | ◎ | ○ | | | | ◎ | | | ◎ | | ◎ | |
| 22MHS1231 | 分子機能回復学特論 | 1 | 人体の運動機能またそれを制御している神経機能を分子レベルから理解するための、基礎知識を学習する。 | 我々の体を構成している細胞にある様々な分子の働きについて、理解する。 | | | | | | ◎ | | | ◎ | | ◎ | |
| 22MHS1332 | 分子機能回復学演習 | 1 | 本演習では運動機能障害や運動失調症が細胞生物学・分子生物学の手法を用いてどのような解析ができるのかを、実際の論文を解説することによって学習する。また特論で学んだ解剖生理学的な知識と細胞・分子生物学的な知見がどこまで統合可能になってきているのかを考察させる。 | 英語の論文を読んで理解することができる。論文の内容を要約し、発表することができる。 | ◎ | | | | | ◎ | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 22MHS1241 | リハビリテーション医学特論 | 1 | 本特論では、まず解剖・生理学を概説し、次に脳や脊髄の損傷、神経・筋疾患、運動器（骨関節筋）の疾患、成長・切断などの障害、内部障害などの診断と治療法を説明する。さらにICIDH、ICFに示される障害の評価やゴール設定を理解する。リハビリテーションを通して過去から現在に至る障害治療福祉（介護）・医療との位置づけを解説し社会に貢献するための基礎知識を学習する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | リハビリテーションを通して障害、福祉（介護）、医療との位置づけを理解し、受講者が新しい生活環境や職場において自立して社会に貢献できるよう基礎知識を修得する。 | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| 22MHS1252 | スポーツリハビリテーション学特論 | 1 | スポーツ傷害に対するリハビリテーションを理解し、傷害別にスポーツ復帰に向けたリハビリテーションについての知識、技術を身につける。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。 | 傷害における評価、治療の過程を理解し、リハビリテーションの全体像を把握することを目標とする。 | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ |